



やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和6年3月25日

No.17 校長 土井 正路

希望を胸に～令和5年度第77回卒業証書授与式

3月18日(月)、「げんき学年」の9名の卒業式が行われました。新たな旅立ちに迎える卒業生に校長から3つのことをお話しました。

「相談することの大切さ:これから生きていく中で困ったり、悩んだりすることもあると思います。そんなとき誰かに話をすることをためらわないで欲しい。」「みんな誰かの大切な人である:家族を含め、あなたを大切に思う人がいます。自分だけでなく、周りの人々にも思ってくれる大切な存在がいる。この世界は誰かの大切な人でできているといっても良いでしょう。それを忘れないでください。」「センスオブワンダー(※)を持ち続ける:不思議なことに感動したり、驚いたりする心を失わないで欲しい。予測不可能な時代、どんどん便利になっていく世の中だからこそ大事にして欲しい感性である。」

次ページに卒業生に贈ったまどみちおさんの詩を紹介します。

※アメリカの海洋生物学者であり、環境保護の大切さを世に知らしめた先鞭であるレイチェル・カーソンは著書「センス・オブ・ワンダー」で次のようなことを述べています。『美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものにふれたときの感激、思いやり、憐れみ、驚嘆や愛情などのさまざまな形の感情がひとたびよびさまされると、次はその対象となるものについてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけた知識は、しっかりと身につきます。』(新潮文庫:センス・オブ・ワンダー レイチェル・カーソン 上遠恵子訳より)

元気学年9名の未来が輝かしいものとなりますよう、教職員一同、心から祈っています。卒業おめでとうございます。みんなのために働くことができる「げんき学年」の皆さん。困難なことがあっても、決して恐れず前に進んでいってください。

15日(金)には、修了式を行いました。各学年の子供たちが1学年ずつ進級します。在校生の皆さんは、卒業生の皆さんへの感謝の思いを胸に、さらに学校を発展させてくれることと思います。

地域の皆様、保護者の皆様にはいつも温かく子供たちを見守っていただきました。また、

本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。また、引き続き変わらぬ御支援と御指導を賜りますようお願い申し上げます。



ぼくがここに まどみちお

ぼくが ここにいるとき

ほかの どんなものも

ぼくに かさなって

ここに いることはできない

もしもゾウが ここにいるならば

そのゾウだけ

ママが いるならば

その一つぶの ママだけしか

ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは

こんなに だいに

まもられているのだ

どんなものが どんなどころに

いるときも

その「いること」こそが

何にも まして

すばらしいこと として

卒業にあたって 卒業式での代表の言葉

卒業式での代表の言葉（答辞）の挨拶文の一部を紹介します。

「6年生になってからは、『最高の姿で卒業しよう』を目標に9人全員でがんばってきました。委員会活動や友だち班での活動では、1年生から5年生までの人たちが楽しんだり、しっかりと活動したりできるようにどんなことが大切か、全員で話し合い、確認してきました。活動が成功するかどうかは、それまでの準備が大切であることを学びました。何と



言っても、僕たちに深い学びを与えてくれたのは、修学旅行で訪れた大川かたかもしれない命があったことを初めて知り、ショックを受けました。地震が起きていなければ、大川小の6年生も今日の僕たちと同じように、たくさんの人たちからお祝いされて卒業できていたんだと思うと、何とも言えない気持ちになります。「命」や「命の大切さ」について考えることの大事さを学びました。」

素敵な飾いを胸に

6年生が卒業式のときに身につけるコサージュを作りました。前号でも紹介しましたが、2月26日（月）



に紅花染め指導者の大山るり子先生より指導を受け、紅花を使った染物に挑戦しました。3月5日

（火）には、大山先生から教えていただき、家族の方や先生方の協力を得て悪戦苦闘しながらもコサージュを完成することができました。山形新聞から取材を受けました。この記事が右です。大変素敵にできました。

紅花染め コサージュに

山形・大曾根小 卒業式へ6年生制作



紅花染めしたハンカチを使い、コサージュ作りに挑戦する児童ら＝山形市・大曾根小

山形市大曾根小（土井正路校長）の6年生9人が5日、自分たちで紅花染めしたハンカチを使ってコサージュ作り

に挑戦した。18日の卒業式でそれぞれが胸に飾り、晴れの日に臨む。県花である紅花の歴史や文化について理解を深めようと、紅花染め指導者の大山るり子さん（74）＝天童市山口IIから教わり、2月26日に紅花の乱花でハンカチを染めた。一人一人異なる模様が浮かび上がったピンク色のハンカチを素材に「マイコサージュ」を作った。子どもたちは一針一針を手縫いして、苦戦しながら花びらを形作り、友達同士で見せ合っていた。高橋楓芽君（12）は「卒業式に胸に付けて堂々と歩きたい。成人式の時まで大切にしたい」と話していた。（柳沢明子）

うまく伝えることできたかな？ ～他校とのオンライン交流～

3月4日、11日に5年生が高畠町二井宿小の5、6年生とオンラインでの交流を行いました。お互いに総合学習等で学んだことをプレゼン画面を共有して発表し合いました。Zoomでのオンライン会議は初めてでしたが、スムーズに交流することができました。二井宿小は本校と同じくらいの規模の学校です。これを機会に交流を深め、お互いの学校の良さや自分たちの感じている課題などを話し合えたら良いですね。司会進行を務めた皆さん、大変立派でした。なお、5年生は村木沢小・西山形小ともオンライン交流を行いました。1年後、中学校でこの時のことが話題になるかもしれませんね。6年生も山形八中生徒会役員の先輩や村木沢小・西山形小で一緒になる児童とのオンライン交流を何度も行い、仲を深めることができたようです。山形八中で直接話せるのが、楽しみです。



グループごとの発表でした。仲間と話しながら発表を進めます。二井宿小に質問します。

良い行いを讃えて ～令和5年度大曾根地区「よい子の表彰」授賞式～

3月13日（水）、善行賞の表彰式を行いました。
この賞は、大曾根地区青少年健全育成連絡協議会から、地域や学校で善い行いをした児童に贈られるものです。今年度の受賞者は6学年全員が対象でした。当日は、協議会会長様から、代表に賞状が授与されました。6年生9名は、校内廊下の朝清掃、教室のゴミ箱洗い、換気扇の掃除等、分担場所や掃除の時間以外にも、学校の環境を良くしようと動いてくれました。中学校に進んでも、「人のために働くことのできる人でいよう」ということを伝え、表彰式を終えました。



受賞、おめでとう！

山形市読書感想画コンクール

おーばん 児童画コンクール



子ども県展

川をきれいにする児童図画

大曾根小 第77回同窓生として ～同窓会入会式～

3月8日(金)、大曾根小学校同窓会入会式を行いました。同窓会長である阿部様(S38卒)よりご来校いただき、同窓会からの記念品である卒業証書フォルダーを9名の卒業生にひとり一人に贈呈いただきました。今年度で同窓生の人数は2448名となります。大曾根小は来年度、123周年を迎えます。



阿部同窓会長からのメッセージ (一部抜粋)

昭和26年に制定された校歌(作詞:真壁仁 作曲:丸山喜一)「輝きの日よ 雪解けの…」から始まりますね。大曾根地区には6つの地区があり、1年間の暮らしが歌われていると考えます。長かった冬が希望に満ち溢れる新しい年が迎えられました。…話は変わりますが、SDGs「持続可能な開発目標」を実現するためにも、皆さんが持っているタブレット端末などのICT機器をフルに活用し「想像」を「創造」してください。…産んでくれた両親に感謝、「自然いっぱい・夢いっぱい・笑顔いっぱい」のこの学び舎を忘れずに、これからもみんな仲良く大きな目標を持ち中学校へ進んでください。自分独りの百歩より、みんなの一步が大きいからです。地域を愛し、世界に飛び立ちましょう。

4月の主な予定

4/5(金)	1学期始業式 新任式(弁当不要) 下校:12:00
4/8(月)	入学式(弁当不要) 下校:11:30
4/9(火)	弁当日(新2~6年) 新1年は午前授業で弁当不要
4/11(木)	給食開始(新2~6年) 新1年は午前授業で弁当不要 PTA幹事会・学年委員会評議員会
4/12(金)	身体検査 新1年は午前授業で弁当不要
4/15(月)	新1年給食開始・下校指導
4/18(木)	6年全国学力・学習状況調査
4/20(土)	学習参観日・PTA総会
4/21(日)	PTAグラウンド整備作業
4/22(月)	振り替え休業日
4/23(火)	放課後子ども教室スタート

お世話になりました

令和5年度転出者

令和5年度の人事異動により、4名の教職員が離任することとなりました。本校在任中は、地域の皆様、保護者の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。

【令和5年度 離任する教職員】

熊谷 啓 教頭先生	出羽小へ
田澤 由妃 先生	山辺小へ
秋場 玲音 先生	滝山小へ
名古 仁彦 技能主査さん	山五小へ

